

令和5年2月24日
教育研究・研修課

第13回世田谷ガリレオコンテストの実施結果について

区立中学生の科学への関心を高め、豊かな創造力と問題解決の力を育み、学ぶ意欲を醸成するため、自然科学や情報技術等に関する研究作品を募集し、「第13回ガリレオコンテスト」を実施したので報告する。

1 日 時 令和5年1月21日（土）午後2時から午後4時まで

2 会 場 世田谷区立教育総合センター「たいよう」他
オンライン配信（Zoom）

3 今年度の実施状況

（1）「プログラミング部門」の新設

これまでの自然科学に関する研究作品部門（サイエンス部門）に加え、今年度、情報技術に関する研究作品部門（プログラミング部門）を新設し、これまで以上の発想や課題解決方法等個性豊かな作品を募集した。

（2）研究内容をさらに高める工夫

発表を行う生徒に対し、事前に勉強会を実施し、自身の研究の要点をまとめたり、コンテストに向けて発表資料の修正等を行ったりすることを通して、自身の研究を深められるようにした。また、発表後に、審査員からの質問に対して応答する時間を設け、新たな研究の視点に生徒が気づき、今後の研究活動につなげられるようにした。

4 参観者数 125名（会場参観者＝一般・保護者・引率教員 39名
（オンライン参観者 50名）
（発表生徒・審査員・運営従事者・業者 36名）
令和5年3月に、YouTubeによるオンデマンド配信を開始

5 発表準備 応募総数2,602点の中から第1・2次審査を経て9作品を選出した。
12月の勉強会、1月のリハーサル等を通じて発表の準備を進めた。

6 コンテストの概要

（1）研究発表

教育総合センター2階の3つの会場において、1会場3名の生徒がそれぞれ研究発表、質疑応答を行った。

(2) 全体会

教育総合センター1階の会場にて、記念講演、審査結果発表・表彰の後、最優秀賞（ガリレオ賞）を受賞した3名の生徒による研究発表を行った。最後に審査委員長より指導・講評を行った。

講演 アメリカザリガニ研究の「今とこれから」 ※オンラインによる配信

講師 武田 晃治 教授

(東京農業大学 大学院農学研究科県境共生学専攻 教職・学術情報課程)

7 審査結果

(1) 受賞者

【サイエンス部門】

○ガリレオ賞（最優秀賞）

山岸 和愛（駒沢中学校2年）「ダンゴムシとワラジムシ」

伊藤 有香（用賀中学校2年）「“熱湯風呂”や“アツアツあんかけ砲”は本当にあついのか？ーお湯の冷却実験を通してー」

高木 一華（上祖師谷中学校1年）「色と温度の関係」

○ドリーム賞（優秀賞）

五十嵐 羽瑠（芦花中学校1年）「麺類の汁を飛ばさずに食べる」

稲葉 唯（喜多見中学校2年）「ベタの観察」

○サイエンス賞（優秀賞）

松田 ひまり（桜丘中学校2年）「ヒートアイランドの謎を探る」

山口 日向（上祖師谷中学校2年）「お弁当を長持ちさせる方法を考える」

【プログラミング部門】

○アイデア賞（優秀賞）

萬 瑠乃（東深沢中学校2年）「10分でわかる！SDGs」

公文 理斗（東深沢中学校2年）「外来種特別サイト」

(2) 審査員

大学副学長、財団職員、中学校校長・副校長、指導力向上サポート室教官の計9名で構成

- 8 協力団体 東京農業大学、東京都市大学、一般財団法人材料科学技術振興財団、公益財団法人加藤山崎教育基金、公益社団法人世田谷工業振興協会、ライフイズテック株式会社